

各テーマ意見のまとめ

① 新たな学生ボランティアの担い手の確保について

< 1回目 >

- かたくるしさをなくす
- ツイッターに活動写真を載せる
- 友達つながり
- チラシ配り
- 大学の研究活動を絡める
- 楽しそうなイベントを開催・コラボ
- 就活に強いことをアピール
- 自分の大学でもやる。知人だから話しかけやすい
- SNSでアカウントを作って、ダイレクトメッセージ
- 敷居を低くする
- 警察の方々による働きかけ。カッコいいと思わせる動画
- SNSを利用した広報活動。各団体同士でフォロー

< 2回目 >

- ほめられたり認められると
- 強い人に誘う
- 積極的に誘う
- 強制参加するように呼び掛け
- 具体的に身につくスキルを提示する
- 小中学校の学活や総合で行う（なるべく楽しい雰囲気で）
- 採用の説明会で宣伝する
- 体験できるようにする

< 3回目 >

- 就活でいかに役立ったかを先輩社会人から知らせていく
- 青パトに乗れるようにする。車に目覚める時期だから
- 警察などの公の機関がカバーできないところをパトロールする。資格を有さない正義
- 就職に役立つことをアピール
- 団体内の活動に取り入れる
- ポイントカードを作る

- 意義や効果の適切な説明
- 気軽にできるようにする
- OBの制服の警察官を使う
- コバトンの中に入れる。

② 学生防犯ボランティアのモチベーション維持の方法について

< 1回目 >

- 警察官を目指しているのではじめてみた。公務員を目指している人をさそう
- ひとつのボランティアに捉われずいくつかの団体や活動に参加することにより、人との出会いや活動の幅が広がり、モチベーションアップに繋がると思う。
- 賞が欲しい
- 地域との関わり
- 生の声を聞いて未然に防げた。
- 履歴書などに書くことができ、プラスに取ることが出来るか。就職活動でのアピール
- 人の出会い!!
- 警察官を目指しているから！
- 警察官を目指しているためこのボランティアに入った。
- 地域の人とのコミュニケーション・出会い
- 学生団体の活動の一環として

< 2回目 >

- 地域の方と協力して地域が発展していくこと
- 人とのつながりを深める
- 集まる理由
- イベント等の能動的参加
- 「ついでに」という意識
- 防犯グッズなどの支給
- ボランティアに参加したという形を残す⇒企業にアピールしやすい
- 各団体へのアピール

< 3回目 >

- イベントの参加 配布物の提供などをお願いされると活動に変化がついてもモチベーションアップに繋がる
- 自分たち1からベストやジャケットを作り、今までのようなものではなく、若者が着ていきやすいものを着る大学生が作ることが出来るということを知ってもらえるとよい。
- 大学のサポートがあればなァー

③ 効果的なパトロール活動をするための工夫について

< 1回目 >

- ながら防犯をする
- あいさつ
- 入り易くて見えにくい危険な場所を重点的にパトロールする
- もっと“見せる”活動をする!
- コンビニやファストフード店をまわり、連携を強化
- 時間の工夫をする
- 高齢者の集まりに学生が言って、呼びかける
- 近所の人に顔を覚えてもらう

< 2回目 >

- 近所の人たちが参加してくれればいいのかなと思います。
- 継続的に行えるように、気軽にやる。
- 県警や県から、防犯のイベント参加をお願いされたい。
- 継続的
- 小学校の周辺 花の岡公園周辺 16時前
- 情報提供パトロール
- 見せる活動
- 地元の人を取り込む
- 学生を取り込む
- パトロール週1 水 or 木 知ってもらう!!
- できる範囲でやる

< 3回目 >

- 講話
- 称号!
- 交通費
- 感謝されること
- 啓発品使ってもらえたこと
- 体験入部
- プライスレス

④ やってもらえてうれしい防犯ボランティアとは

< 1回目 >

- 徘徊している人を見つけてもらいたい
- 横断歩道に立つ
- ながら見守り
- 詐欺（振り込め）にかからないためのセミナー
- 学校帰りにパトロール
- ショッピングモールをパトロール
- 御老人の家に行ってあげたらいい
- 御老人の話し相手
- チラシを配る
- 登下校の見守り
- 学校帰りにパトロール

< 2回目 >

- 若い人にやってもらいたい
- ゴミ拾い落書き無くす
- 地域ぐるみでやっている⇒安全・安心へつなげる
- 横断歩道、学生がやる
- 公共施設（公園）のパトロール
- 振り込め防止。自宅近くの公民館へ行って防犯講話
- 1人くらいの高齢者の訪問。安否確認。

< 3回目 >

- モチベーションの自分の活動を知ってもらう
- 県民の方々にどんなボランティアをしてほしいのか、アンケートを取って、それにあった活動をする。
- やった活動に対し、どう思っているのか、答えが欲しい
- 犯罪情報の発信
- 警察とボランティアの連携
- 自己成長できる一環
- 被害を防ぐための初めの一步
- 努力や試行錯誤できるところ
- 社会貢献